

# 川崎市 景観計画

## 改定委託の考え方

令和8(2026)年1月20日  
川崎市まちづくり局計画部景観・地区まちづくり支援担当

1 はじめに	．．． P. 3
2 現状と課題	．．． P. 4
3 改正の方向性	．．． P. 5
4 関連計画等の反映イメージ	．．． P. 6
5 景観計画の体系図からみる改正イメージ	．．． P. 7
6 改定スケジュール（案）	．．． P. 8
7 景観計画の改定事例	．．． P. 9
8 普及啓発ツールの事例	．．． P. 10

# 1 はじめに

川崎市景観計画は、2004(平成16)年度に景観法の制定を受けて、2007(平成19)年度に川崎市景観計画を策定し、**市全域を対象**に、地域特性に応じた景観形成方針や色彩等の基準を定め、街並みに影響を与える建築物等に対して、届出を活用した適切な景観誘導を実施しました。

2018(平成30)年度には計画を改定し(策定から11年後に改定)、本市における景観のとらえ方や届出要件の見直し、屋外広告物等による景観形成に関する事項の追加等を行いました。

本計画では計画期間は概ね10年と記載しており、前回改定からまもなく10年を迎えることから、このたび**計画等の見直し**を行い、**本市を取り巻く社会情勢や地域実情等を反映し、川崎らしい景観づくりを一層推進**します。



## [参考HP]

### ■川崎市景観計画

<https://www.city.kawasaki.jp/500/cmsfiles/contents/0000018/18097/keikankeikaku-pamphlet-2025.pdf>

### ■景観計画届出マニュアル

<https://www.city.kawasaki.jp/500/cmsfiles/contents/0000018/18074/todokede-manual.pdf>

### ■各種ガイドライン(公共空間環境形成、東海道川崎宿まちなみまちづくり、臨海部色彩、多摩川景観形成)

[https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/26-1-3-1-14-0-0-0-0.html](https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/26-1-3-1-14-0-0-0-0-0.html)



## 2 現状と課題

行政・事業者・市民の3つの視点から課題を整理します。

### 行政



- 昨今の自然環境への意識の高まりや都市景観をめぐる社会情勢の変化、市民意識の変化や多様化が進んでいる。また、本市では総合計画及び都市計画マスタープラン、緑の基本計画等の各種計画の改定作業が進んでいることから、これらとの整合を図る必要があります。

【→社会情勢や市政の反映】

- これまで運用した各種制度の適切な評価や、「川崎らしい景観づくり」の一層の推進に向けた市民の景観に対する捉え方を把握する必要があります。

【→市民意識調査や計画評価の実施】

- 景観計画等での制限は、届出・勧告制による緩やかな規制であるためか、高さ制限の内容として定性的で曖昧な表現が用いられていることが特徴です。そのため、目指すべき良好な景観形成を具体的に分かりやすく見える化して共有していく必要があります。

【→良好な景観形成のイメージの見える化による共有】

- 景観アドバイザーなど専門家等の意見を事業計画に反映しやすくするため、届出時期等の見直しを行う必要があります（通常の届出は工事着手の30日前、事前協議対象となる大規模なものは工事着手の90日前）。

【→事前協議の時期の見直し】

### 事業者



### 市民



- 「景観」という言葉が一般的に浸透しておらず、日常生活でよく見る街なみ（景観）の価値へ気付いてもらうことで地域への愛着や景観づくり活動への関心につなげていく必要があります。

【→シビックプライドの醸成】

- 地域での景観づくりに取り組む方々の高齢化等により、地域活動や景観形成基準（規制）の維持が困難になっているため、取組方針を見直す必要があります。

【→地域実情に応じた無理のない継続的な活動の推進】

- 昨今の市勢や社会情勢で重要とされるキーワードである「環境」や「身近な景観」を踏まえて、**現状の課題解決が可能となるよう計画改定等**を行います。
- 川崎が目指すべき景観の将来像を共有し、景観形成基準の実効性の確保するため、多くの人（市民・事業者）に**興味・共感を持ち、実践したくなるような計画改定等**を行います。

※上記の他、検討の深度化を進める中で新たな課題等が出た場合は、適宜、見直しを行います。  
※景観計画の改定に伴い、条例やガイドラインについても見直しを行います。



川崎区) 川崎マリエン



幸区) ミューザ川崎



高津区) 大山街道



麻生区) 新百合ヶ丘駅



川崎区) 市役所通り



中原区) サードアベニュー



宮前区) 八幡坂



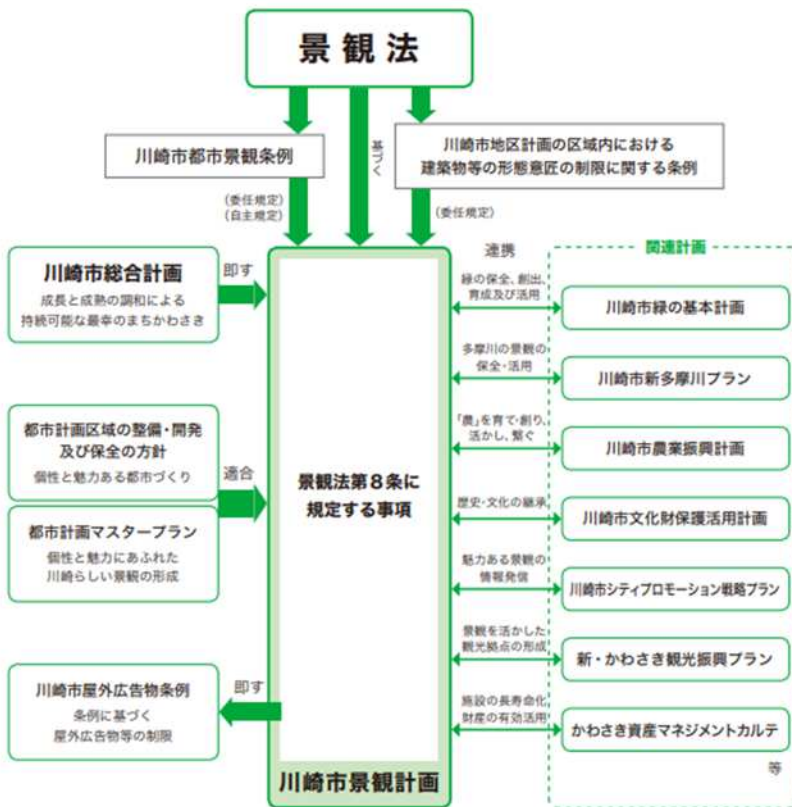
多摩区) 二ヶ領用水



## 4 関連計画等の反映イメージ

景観法に基づき、本市景観計画は総合計画や都市計画マスタープラン等に適合させる必要があります。  
また、**現行の改定計画の内容だけでなく、緑の基本計画など改定を予定している計画等**については、**その内容を十分に、景観計画や各種ガイドラインへ反映**していく必要があります。

■川崎市景観計画の位置づけ



【出典：川崎市景観計画（冊子版）P.14】

### 川崎市総合計画

#### 川崎市総合計画 改定素案

令和7(2025)年11月  
川崎市

- 「川崎市総合計画 改定方針（令和7年5月）」では、改定に向けた基本姿勢として**市民ニーズを的確に把握し、多様な視点を取り入れる**ため、各種アンケートや車座集会などで得た市民意見のほか、有識者の意見等を踏まえながら具体的な取組の検討を進めるとともに、市民に分かりやすく機動的な計画にするための見直しとして、市民にとって必要な情報を分かりやすく簡潔に掲載することなどが記載されていました。
- 令和7(2025)年11月の改定素案では、こうした考え方が反映された、分かりやすい計画としてコンパクトにまとまっていることから、**内容だけでなく表現方法やまとめ方についても適合させる必要があります。**

- みどりの将来像は、「緑のつながり」「人のつながり」「みどりを活かしたまちづくり」からみんなで好循環を生み出し、自然と都市が成長し続ける川崎を目指すことをコンセプトに、**『人と自然が共存する幸福な社会』の実現に向けて多様な主体と連携しながら様々な取組を推進**していくことが描かれています。
- 景観計画の改定の際には、この**みどりの将来像の実現に向けた実務レベルで取組等を反映**していく必要があります。

- コンセプトワード

**“KAWASAKI NATURE LOOP”** ～みどりで、つなげる。みんなが、つながる。～

新規

### 川崎市みどりの将来像



### 【改定予定の計画】

都市計画マスタープラン、緑の基本計画、新多摩川プラン 等

※その他計画についても適宜、進捗を要確認

# 5 景観計画の体系図からみる改正イメージ

旧

序

川崎らしい景観をめざして  
○これまでの川崎市の景観づくり  
○景観計画の改定の基本的な考え方

1

## 基本理念・目標及び計画の位置づけ

- 1 景観形成の基本理念  
「かわさき百年の風土記づくり」
- 2 川崎市における景観のとらえ方  
都市空間はもとより、自然環境、人の営みによって形作られる様子など、  
普段人々が目にしているながめ
- 3 景観形成の基本目標  
目標1：川崎を形づくる骨格を活かす  
目標2：個性と魅力ある川崎の顔をつくる  
目標3：地域特性を活かした身近な街なみをまもり・育てる  
目標4：情報発信により川崎の景観への愛着を高める

4 計画の位置づけ

2

## 景観の特徴

- 本市の景観を特徴づけるさまざまな要素
- 本市の景観の特徴

3

## 景観計画の区域と良好な景観の形成に関する方針

- 景観計画の区域
- 景観形成方針

4

## 良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項

- 景観形成基準
- 届出を要する行為

5

## 屋外広告物等による景観形成に関する事項

- 屋外広告物等の表示等による景観形成に関する基本的な考え方
- 屋外広告物等の表示及び屋外広告物等を掲出する物件の設置等に関する行為の制限に関する事項等

6

## 景観重要建造物及び景観重要樹木の指定方針

— 指定なし —

7

## 公共施設の整備における景観形成に関する事項

- 公共施設の整備における景観形成に関する基本的な考え方
- 景観重要公共施設の整備及び専用許可等の基準に関する事項

8

## 景観形成の推進方策

- 協働による景観形成の実践
- 関連施策・事業との連携
- 新たな技術や社会情勢の変化への対応
- 景観形成に向けた取組体制の構築
- 魅力ある景観情報の発信
- 景観計画の見直し

新

序

川崎らしい景観をめざして  
○これまでの川崎市の景観づくり  
○景観計画の改定の基本的な考え方

1

## 基本理念・目標及び計画の位置づけ

- 1 景観形成の基本理念  
「かわさき百年の風土記づくり」
- 2 川崎市における景観のとらえ方  
都市空間はもとより、自然環境、人の営みによって形作られる様子など、  
普段人々が目にしているながめ
- 3 景観形成の基本目標  
目標1：川崎を形づくる骨格を活かす  
目標2：個性と魅力ある川崎の顔をつくる  
目標3：地域特性を活かした身近な街なみをまもり・育てる  
目標4：情報発信により川崎の景観への愛着を高める  
目標5：「みどり環境」をキーワードに追加（例：人と自然が共生する街なみづくり）  
目標6：「身近な景観」をキーワードに追加（例：ヒューマンスケールを意識した街なみづくり）

追加

4 計画の位置づけ

2

## 景観の特徴

- 本市の景観を特徴づけるさまざまな要素
- 本市の景観の特徴

3

## 景観形成の推進方策

- 多様な主体と連携した各種取組の推進
- 関連施策・事業との連携
- 新たな技術や社会情勢の変化への対応
- 景観形成に向けた取組体制の構築
- 魅力ある景観情報の発信
- 景観計画の見直し

見直し

4

## 景観計画の区域と良好な景観の形成に関する方針

- 景観計画の区域
- 景観形成方針

5

※制度評価後等を踏まえて検討

## 良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項

- 景観形成基準
- 届出を要する行為

見直し

6

## 屋外広告物等による景観形成に関する事項

- 屋外広告物等の表示等による景観形成に関する基本的な考え方
- 屋外広告物等の表示及び屋外広告物等を掲出する物件の設置等に関する行為の制限に関する事項等

見直し

7

## 景観重要建造物及び景観重要樹木の指定方針

— 指定なし —

8

## 公共施設の整備における景観形成に関する事項

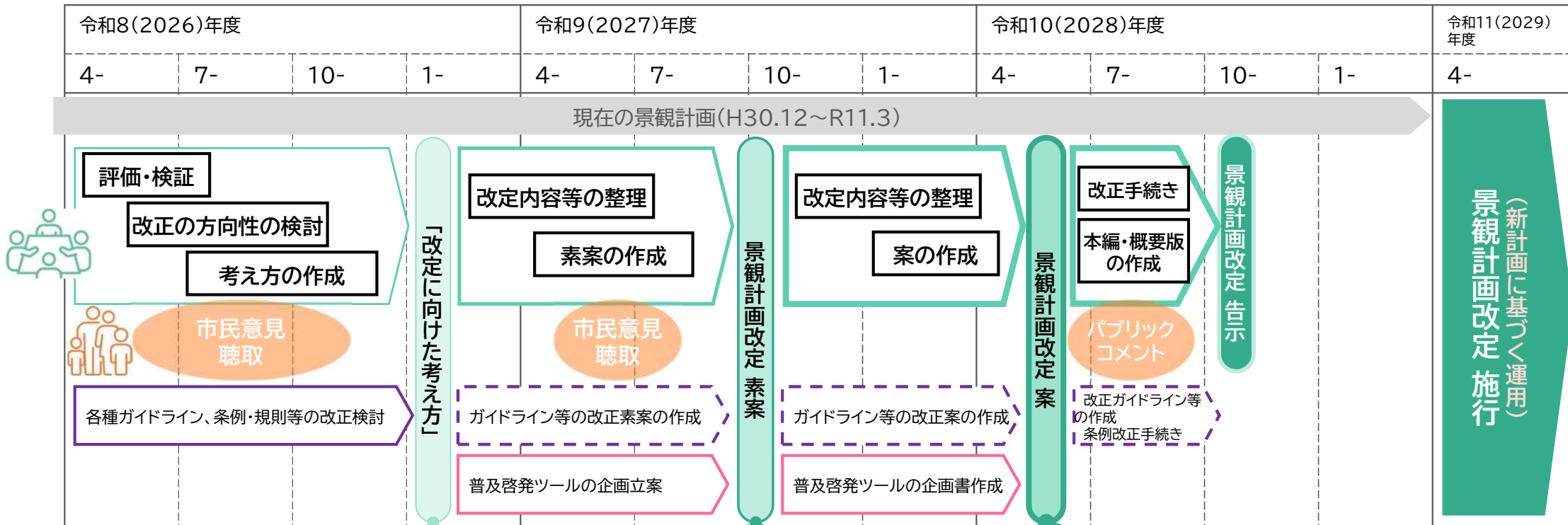
- 公共施設の整備における景観形成に関する基本的な考え方
- 景観重要公共施設の整備及び専用許可等の基準に関する事項

※制度評価後等を踏まえて検討

見直し

多様な主体と連携して取組推進することが重要なため、前に位置づけます。

# 6 改定スケジュール（案）



具体的には・・・

- 1 社会状況の変化、関連計画等の整理
- 2 現行の景観計画及び各種ガイドラインの検証・評価・課題の整理(届出状況等の把握、職員への意見聴取等)
- 3 景観に関する市民意識調査（アンケート等）
- 4 景観条例、ガイドライン等の改正検討
- 5 景観計画改定素案(たたき台)、概要版の検討
- 6 庁内検討会議の設置、運営
- 7 都市景観審議会及び都市計画審議会、屋外広告物審議会への付議
- 8 その他

「改定に向けた考え方」

- 1 「改定に向けた考え方」の改正内容等の整理
- 2 景観計画改定素案の作成
- 3 庁内関係部署との調整
- 4 都市景観審議会及び都市計画審議会、屋外広告物審議会への付議
- 5 条例改正(ガイドライン)等の改正検討<必要に応じて>
- 6 普及啓発ツールの企画立案

景観計画改定素案

- 1 景観計画改定素案の改正内容等の整理
- 2 景観計画改定素案の作成
- 3 庁内関係部署との調整
- 4 都市景観審議会及び都市計画審議会、屋外広告物審議会への付議
- 5 条例改正(ガイドライン)等の改正手続き<必要に応じて>
- 6 普及啓発ツールの企画書作成

景観計画改定案



# 7 景観計画の改定事例

- ・簡潔で分かりやすい文章で、写真やイラストを効果的に活用しています。
- ・コラムを設けて景観に対する意識醸成を図っています。

## 杉並区景観計画（令和7（2025）年4月改定）

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/s094/6222.html>



## 千葉市景観計画（令和6（2024）年4月改定）

<https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/keikaku/keikannkeikaku.html>



# 8 普及啓発ツールの事例

・良好なデザイン誘導を行うため、色彩やデザインの調和のととり方等について具体的に記載されています。

10

## 甲州市景観まちづくりヒント集

<https://www.city.koshu.yamanashi.jp/docs/2020082400022/>



## 調布市 景観形成ガイドライン（色彩編）

<https://www.city.chofu.lg.jp/080040/p044065.html>

